



希望

新宿区立四谷小学校

学校だより

～今、私たちができることを考えよう～

校長 持田 裕代

4年生は、総合的な学習の時間に、「ふれ合おう心と心～今私たちができることを考えよう～」をテーマに、福祉についての理解を深める学習をしています。子供たちが、「社会には様々な人がいて、自分たちと同じ地域社会で生活していること、また、これからも共に生活していくこと」を理解し、自分も社会の一員として役に立ちたいという思いをもち、そのために何ができるかを考えて具体的に提案していく学習です。

初めに、新宿区の社会福祉協議会に協力していただき、子供たちは、アイマスク体験、高齢者体験、車いす体験などをしました。

さらに、地域にお住まいの障害のある方と交流し、お話を聞くことができました。日常生活を知り、思いや願いを共感するとともに施設・設備のユニバーサルデザインや共用品の存在に気づき、自分たちも「共用品を考えてみよう」という課題設定ができました。共用品推進機構から専門家にお越しいただき、身近にある共用品を改めて触ってみることで理解を深めました。子供たちは、グループで情報交換をして、新しいアイデアを生み出したり、一致点を探ったりしています。

総合的な学習の時間には、自分たちが設定した課題を解決するために、自ら情報を探し、共に学び合う中で自分の考えを明らかにしていく子供の姿が見られます。じっくりと考え、どれが適切かを判断し決断することなど、実社会で活用できる能力を身に付けていきます。

その学びや活動を支えてくださっているのが、運営協議会委員やスマイルクラブ（保護者・地域ボランティア）のみなさんです。地域協働学校である本校では、地域の情報を的確に伝え、体験の場を提供して下さる方々に授業を応援していただいています。子供たちのためにご尽力くださっている方々に感謝し、今後もより充実した授業づくりに努めてまいります。

自分らしさ100% 展覧会

展覧会担当

20、21日に四谷小学校第3回目の展覧会を行います。今回の展覧会テーマは、「楽しい！夢中！自由に！自分らしさ100%」です。4年生以上の各学級から選ばれた展覧会実行委員会の子供たちが「図工や家庭科で何かをつくっている時間は自分たちにとってどんな時間か」「『つくる』ってどんな意味があるのか」などを話し合っただけで決めたテーマです。

造形活動は単に形をつくるだけではありません。様々な素材やモノと出会い、試行と自己決定を何度も積み重ね、つくったりこわしたりを繰り返しながら、自分の心に響く「何か」を見付け、新しい自分なりの価値と出会います。これらのプロセスを通して、多くの発見や創造的な自分づくりをしていきます。どの作品も、手先だけでなく、子供たちなりに心を動かして材料と関わり合いながら取り組んできたものです。作品は子供たち一人一人の思いや願いがたくさんつまった、言わば分身とも言えるべき存在です。

低学年の作品では、ぜひお子さんの話を丁寧に聞いて鑑賞されることをお勧めします。大人の私たちが忘れかけている、あるいは気付かないことが作品の中にたくさん入っていることが多いものです。中学年の作品は、材料との関わり方がダイナミックになってきます。表面的な上手、下手ではなく、一人一人の個性が発揮された表現やその作品に込められた思いをじっくり見て下さい。高学年は、抽象的な表現や自分の内面世界、自分で決めたテーマを追求して表現する作品が多くなります。子供たち一人一人の考えや思いを感じて下さい。

今回は大人にも「つくる喜び」を感じて頂きたい、保護者対象のものづくり体験講座（事前申込制）も実施します。学校中がアート一色になる2日間、ぜひ足をお運びください。



なんでも 全力

2年2組担任

4月に子供たちと出会ってから、もう半年が経ちました。2組の子供たちには、素晴らしいところがたくさんあります。特に次の2点は自慢できます。

1つ目は、友達を思いやる心がそだっているところです。困っている子がいるとすぐに助けようとします。ケンカをしても自分たちで仲直りをしようと努力します。友達をみんなで責めることがないように、お互いに声をかけ合うこともできます。

2つ目は、考える力がのびているところです。授業中は、たくさんの意見を出し合い、聞いて考えたことを丁寧に説明し合います。また、学習したことを普段の生活の中から見付け、関連付けて作文にまとめたり、報告したりしています。

4月当初に比べて、子供たちは学習面・生活面ともになんでも全力で取り組むようになり、大きく成長しました。半年後には、いよいよ中学年になります。今後も子供たちが楽しく充実した学校生活を送ることができるように、日々の指導を続けていきます。

良い雰囲気大切に

4年1組担任

昨年度、本稿で3年1組（現4年1組）の紹介を書いた時には、「3年1組は、とても明るく雰囲気の良いクラスです。授業中も子供たちの笑顔が多く、のびのびと生活しています。」「困ったときに助け合える温かい仲間たちでもあります。」と書きました。

1年が過ぎた今でも、そのような長所は、変わっていません。今年度はそこに、「さらに賑やかになりました。」という一文が加わりました。

もともと活発で、体を動かすのが大好きな子供たちである上に、男女の仲もよいので、休み時間や放課後も大きな声を出してよく一緒に遊んでいます。グループ活動でも、話し合いや作業が始まると、途端に賑やかになります。まさにギャングエイジ真っ盛りという感じです。

4年生も折り返し地点を過ぎた今、このような長所をさらに伸ばしつつ、残りの日々を大切に過ごしていきたいと思います。

あいさつは魔法の力

音楽専科

「ちょっと勇気がいるけれど思い切って声を出してみよう〜♪」そんな歌い出しから、あいさつをするときの気持ちを歌った歌が「あいさつは魔法の力」という曲です。2学期始まってすぐの音楽朝会のときに全校で歌いました。今年から活動している音楽クラブの伴奏にのって、どの学年も歌詞をはっきり言い、いい表情で歌っていました。

音楽専科として音楽朝会では、全校で声を合わせたり、リズムを合わせたりすることを楽しみ、子供たちが歌声もあいさつも気持ちよく声を出せるよう指導していきたいと思っています。

朝の15分間、子供たちが音楽と触れ合うことで、心が解放されたり、リラックスしたり、前向きな気持ちになったりして、教室に戻れるような音楽朝会と、音楽が流れると自然と歌声が聴こえるような四谷小を目指します。

